

# 廊下

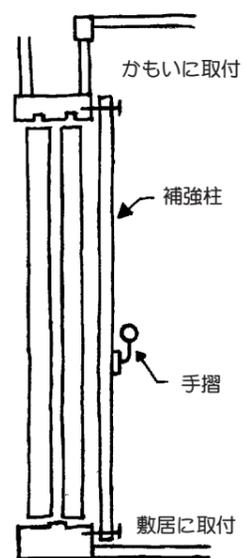
各室をつなぐ廊下は、昼夜を問わず、安全に移動しやすく、かつ、各室内との温度差をできるだけ少なくし、車椅子での移動も可能にしておくことが大切です。

## リフォーム指針

- 不要な段差は解消する。
- できる限り手摺を巡らす。
- 木製などの緩みのある手摺とする。
- 床仕上を滑りにくい材料とする。



▲ 4枚引き戸の中間に補強柱を立てて、手摺を連続させる



## 改造のポイント

使いやすい高さで材質として連続して使えるよう出入口部分も手摺を設置。

## ★改造のアドバイス

手摺を取りはずし式とする場合は、簡単にはずれないような工夫をすること。



▲ 部屋の出入口前にも連続して手摺を設置



▲ 出入口部分等、連続に手摺を巡らすことが困難なため出入口の両側にたて手摺を設置した例

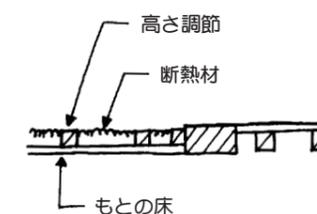
## ★改造のアドバイス

- たて手摺を使用する場合は、握力が必要でです。
- 手摺は、木製等のあたたかみのある材質とする。
- 手摺のつかみやすい径は38mm程度です。



(工事中)

◀ 床をあげて、部屋との段差解消



## 改造のポイント

新しい床ともとの床の間に断熱材を入れる。

## 改造のポイント

床全体の工事なので費用がかかるが、くさびよりも安全です。



(完成)

